

(対象期間：2019/7/15～2019/7/19)

【株式市場】ジャカルタ総合指数の推移  
(2016年1月4日～2019年7月19日)

(ポイント)



## 【株式市場】

インドネシアの株式市場は上昇しました。週前半は、堅調な外国人投資家の資金流入が見られ、通貨ルピアが堅調に推移したことや、利下げ期待の高まりなどを背景に堅調となりました。18日、インドネシア中央銀行(BI)は市場の予想通り、政策金利を0.25%引き下げ 5.75%としました。その後は利益確定売りに押され、一進一退の展開となりましたが、週後半は、年内の追加利下げの期待が高まりを背景に上昇しました。

2019/7/12	2019/7/19	変化率
6,373.35	6,456.54	+1.31%

【債券市場】インドネシア本国通貨建て10年国債利回りの推移  
(2016年1月1日～2019年7月19日)

(%)



## 【債券市場】

週初は米国の金利先安観などからルピアが堅調に推移していることや、18日の金融決定会合での利下げの期待が高まったことから、10年国債利回りは低下(価格は上昇)しました。しかし、その後は、活発な取引がみられたものの、売り買いが拮抗し、横ばいとなりました。18日、0.25%の利下げが決定されましたが、市場の予想通りであったため、その後も引き続き狭い値幅での取引となりました。週間では利回りは低下(価格は上昇)しました。

2019/7/12	2019/7/19	変化幅
7.205	7.145	-0.060

【為替市場】インドネシアルピアの対円レートの推移  
(2016年1月1日～2019年7月19日)

(円)



## 【為替市場】

ルピアは前週末比、対米ドルでは上昇、対円ではほぼ変わらずとなりました。週前半から、米国の金利先安観から米ドル安ルピア高となりました。債券および株式市場で外国人投資家による活発な資金流入が見られたことからその後もルピアは対米ドルで堅調となりました。一方、対円では米国の金利先安観に加えて、中東の緊張感の高まりなどを背景に円高傾向となったため、前週比はほぼ変わらずとなりました。

2019/7/12	2019/7/19	変化率
0.7721	0.7709	-0.16%

100インドネシアルピアの対円レート

出所：グラフおよび表はBloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

<当資料に関してご留意いただきたい事項> ※当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、特定の金融商品の勧誘・販売等を目的とした販売用資料ではありません。※当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。※当資料の内容は作成日時点のものであり、当社の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、将来予告なく変更されることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。※当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。※当資料では、個別企業に言及することがありますが、当該企業の株式について組入の保証や売買の推奨をするものではありません。※当社による事前の書面による同意無く、本資料の全部またはその一部を複製・転用並びに配布することはご遠慮ください。

## イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商) 第379号/加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

英国ブルーデンシャルは、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルーデンシャル・フィナンシャル社とは関係がありません。

英国ブルーデンシャル・グループ

190722 (02)